



ボイスメールの設定

- [ボイスメールの設定 \(1 ページ\)](#)

ボイスメールの設定

ボイスメールシステムの内線/外線電話番号または URL を設定できます。外部のボイスメールサービスを使用する場合、番号にダイヤルアウトするために必要なすべての数字と必要な市外局番を含める必要があります。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 全般セクションで、ボイスメールをチェックするための電話番号または URL であるボイスメール番号を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Voice_Mail_Number ua="na">123</Voice_Mail_Number>
```

デフォルト：空

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
電話機が再起動します。

内線用のボイスメールの設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。(n) は、内線番号です。
 - ステップ 2 [コール機能の設定] セクションで、[ボイスメールサーバとメッセージ待機中のパラメータ \(3 ページ\)](#) の説明に従って、ボイスメールサーバ、ボイスメールサブスクライブ間隔 (オプション)、およびボイスメール有効のパラメータを設定します。
 - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
電話機が再起動します。
-

メッセージ待機インジケータの設定

電話機の特定の内線にメッセージ待機インジケータを設定できます。メールボックスに新しいボイスメールメッセージがあると、メッセージ待機インジケータが点灯します。

1つ以上のボイスメールが残っている場合、IP 電話の上部でインジケータを有効化して点灯できます。このライトは、メッセージが待機中の場合に表示できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。(n) は、内線番号です。
 - ステップ 2 [コール機能の設定] セクションで、[ボイスメールサーバとメッセージ待機中のパラメータ \(3 ページ\)](#) の説明に従って、[メッセージ待機](#)パラメータと関連パラメータを設定します。
 - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
電話機が再起動します。
-

ボイスメールサーバとメッセージ待機中のパラメータ

以下の表では、ボイスメールサーバとメッセージ待機中の**コール機能の設定**について説明します。

表 1:ボイスメールサーバとメッセージ待機中のパラメータ

パラメータ	説明
[ボイスメールサーバ (Voice Mail Server)]	<p>電話機の SpecVM サーバを識別します。通常は、VM サーバの IP アドレスとポート番号です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機の設定ファイル (cfg.xml) に、次の形式で文字列を入力します。 <code><Voice_Mail_Server_1_ua="na"></Voice_Mail_Server_1_></code> 電話機のウェブページで、ボイスメールサーバの IP アドレスを入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[ボイスメールサブスクライブインターバル (Voice Mail Subscribe Interval)]	<p>ボイスメールサーバへのサブスクリプションの秒単位の有効期限。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機の設定ファイル (cfg.xml) に、次の形式で文字列を入力します。 <code><Voice_Mail_Subscribe_Interval_1_ua="na">86400</Voice_Mail_Subscribe_Interval_1_></code> 電話機のウェブページで、適切な値を入力します。 <p>有効値：0 ～ 86400 の整数。</p> <p>値が 0 に設定されている場合、電話機は代わりにデフォルト値を使用します。</p> <p>デフォルト: 86400</p>

パラメータ	説明
ボイスメール有効	<p>特定の内線用のボイスメールサーバへのサブスクリプションを有効または無効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機の設定ファイル (cfg.xml) に、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Voice_Mail_Enable_1_ua="na">Yes</Voice_Mail_Enable_1_></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいまたはいいえに設定して、機能を有効または無効にします。 <p>有効値: はい (Yes) といいえ (No)</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>
メッセージ待機	<p>電話機のメッセージ受信インジケータ (MWI) が点灯しているかどうかを示します。このパラメータにより、SIP プロキシからのメッセージが切り替えられ、メッセージが待機しているかどうかを示されます。</p> <p>このパラメータが有効なのは、ボイスメールサーバ、ボイスメールサブスクライブ間隔、およびボイスメール有効のパラメータが設定されている場合です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機の設定ファイル (cfg.xml) に、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Message_Waiting_1_ua="na">Yes</Message_Waiting_1_></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいまたはいいえに設定して、機能を有効または無効にします。 <p>有効値: はい (Yes) といいえ (No)</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>

ラインキーのボイスメール PLK の設定

指定したユーザまたはグループのボイスメールアカウントをユーザが監視するように、ユーザのラインキーのボイスメール PLK を設定することができます。

ボイスメール PLK は、内線番号のボイスメールと別のユーザまたはグループのボイスメールの両方を監視できます。別のユーザまたはグループのボイスメールをモニタリングするには、SIP プロキシがサポートされている必要があります。

たとえば、ユーザがカスタマーサービスグループに属している場合、この機能により、ユーザは自分のボイスメールとグループのボイスメールを両方とも監視できます。

同じラインキーに対して短縮ダイヤルを追加した場合、ユーザはラインキーを押して、割り当てられた内線への短縮ダイヤルを作成できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 ボイスメール PLK を設定する **ラインキー** を選択します。

ステップ 3 (任意) [内線 (Extension)] パラメータを [無効 (Disabled)] に設定して、内線を無効にします。

(注) 直接 PLK 設定機能を無効にした場合は、内線を無効にしてラインキーにボイスメール PLK を設定する必要があります。この機能が有効な場合は、この手順をスキップできます。詳細については、[直接 PLK 設定を有効にする](#) を参照してください。

このパラメータは、電話機の設定ファイル(cfg.xml)でも設定できます。パラメータは、回線固有です。次の形式で文字列を入力します。

```
<Extension_n_ua="na">Disabled</Extension_n_>
```

n は内線番号です。

ステップ 4 [拡張機能 (Extended Function)] パラメータに、次の形式で文字列を入力します。

- MWI のみの場合:

```
fnc=mwi;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

- MWI + 短縮ダイヤルの場合:

```
fnc=mwi+sd;ext=8000@domain;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

- MWI + 短縮ダイヤル + DTMF の場合:

```
fnc=mwi+sd;ext=8000 ,4085283300#,123456#@domain;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

文字列シンタックスの詳細については、[ボイスメール PLK の文字列シンタックス \(6 ページ\)](#) を参照してください。

このパラメータは、電話機の設定ファイル(cfg.xml)でも設定できます。パラメータは、回線固有です。次の形式で文字列を入力します。

```
<Extended_Function_2_ ua="na">mwi+sd;ext=8000 ,4085283300#,123456#@domain;
sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;</Extended_Function_2_>
```

ステップ 5 [全般 (General)] セクションで、[カスタマイズ可能な PLK オプション (Customizable PLK Options)] パラメータで `mwi` または `mwi;sd` を追加します。

設定ファイル(cfg.xml)のパラメータ:

```
<Customizable_PLK_Options ua="na">mwi;sd</Customizable_PLK_Options>
```

設定後、ユーザは対応するラインキーの機能を設定することができます。

ステップ 6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

ボイスメール PLK の文字列シンタックス

次の表では、電話機の Web インターフェイスで設定されたボイスメールのプログラム可能なラインキー (PLK) に関連付けられている文字列シンタックスを示しています。

表 2: メッセージ待機インジケータの PLK の文字列シンタックス

文字列	説明
fnc	<p>キーの機能を指定します。PLK は、MWI または MWI と短縮ダイヤルの組み合わせに対してのみ使用できます。</p> <p>有効値: <code>mwi</code> <code>mwi + sd</code></p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>mwi</code>: ボイスメールアカウントのモニタリングを有効にします。 • <code>Mwi + sd</code>: ボイスメールアカウントのモニタリングと短縮ダイヤルを有効にします。使用した場合は、「ext」を設定する必要があります。それ以外の場合、短縮ダイヤルは機能しません。 <p>例: <code>fnc=mwi+sd;</code></p> <p>タイプ: 必須</p>

文字列	説明
sub	<p>PLK が監視するボイスメールアカウントの SIP URI を指定します。</p> <p>ボイスメールアカウントは、電話機の内線番号のユーザのボイスメールアカウントまたはグループのボイスメールアカウントにすることができます。</p> <p>たとえば、内線 1 のユーザー ID は 4085289931 です。関連するボイスメールアカウントは 4085289931@example.com です。ユーザは、4085283300@example.com のボイスメールアカウントであるカスタマグループに属しています。</p> <p>この例では、値は 4085289931@example.com にすることができます。SIP プロキシによってグループのメンバーがグループのボイスメールを監視できる場合、値は 4085283300@example.com になります。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none">• sub=4085283300@example.com;• sub=4085283300@\$PROXY; <p>タイプ: 必須</p>
vid	<p>ボイスメール PLK が関連付けられている内線 ID。</p> <p>ボイスメール PLK は電話機の内線に関連付けられ、内線ユーザー ID とプロキシに基づいて SIP メッセージを生成します。</p> <p>具体的には、ボイスメール PLK が、関連付けられた内線番号のユーザー ID とプロキシに基づいて、発信者および連絡先ヘッダーを生成します。次に、指定された SIP URI にサブスクライブメッセージを送信します。</p> <p>文字列が存在しない場合、PLK は内線番号 1 に関連付けられます。</p> <p>例: vid=2;</p> <p>タイプ: オプション</p>

文字列	説明
ext	<p>キーが MWI 機能と短縮ダイヤル機能 (fnc=mwi+sd) の両方を使用する場合、短縮ダイヤル番号または SIP URI を指定します。</p> <p>短縮ダイヤル番号は、ボイスメールメッセージを発信するために使用されます。</p> <p>例: ext=8000;</p> <p>キーからの短縮ダイヤル中にボイスメールのログインセッションをバイパスするには、文字列に DTMF 文字を入力します (ボイスメールアカウント ID と PIN を含む)。</p> <p>例: ext=8000 ,4085283300#,123456#@\$PROXY;</p> <p>「4085283300」はボイスメールアカウント ID で、「123456」は暗証番号です。</p> <p>(注) PIN を短縮ダイヤル文字列に追加することは推奨されていません。</p> <p>短縮ダイヤル番号 (8000) と DTMF 文字 (,4085283300#,123456#) の間にはスペースが必要です。</p> <p>短縮ダイヤル文字にコンマ (,) を使用すると、2 秒間の一時停止を意味します。</p> <p>短縮ダイヤルの文字列の詳細については、DTMF の待機および一時停止パラメータを参照してください。</p> <p>タイプ: オプション</p>
nme	<p>キーの電話機に表示される名前。</p> <p>この文字列が指定されていない場合、値は「サブ」フィールドのユーザ部分になります。たとえば、「4085283300」のようになります。</p> <p>例: nme=Group</p> <p>タイプ: オプション</p>

関連トピック

[ラインキーのボイスメール PLK の設定](#) (4 ページ)

[\[キー拡張モジュール\] ボタンのボイスメール PLK の設定](#)

[電話機のボイスメール PLK の設定](#) (8 ページ)

電話機のボイスメール PLK の設定

電話機で、ボイスメールのプログラム可能なラインキーキー (PLK) を設定することができます。ボイスメッセージ PLK の最大数は 10 です。ボイスメール PLK では、電話機のボイス

メールアカウントを監視したり、電話機で設定されていないボイスメールアカウントを監視したりできます。

始める前に

次のいずれかの条件が満たされていることを確認します。

- [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] の [ラインキー (n) (Line Key (n))] セクションの [内線 (Extension)] パラメータが [無効 (Disabled)] に設定されている。
- 直接 PLK 設定機能が有効になっている。この場合、ラインキーの内線を無効にする必要はありません。機能を有効にする方法の詳細については、[直接 PLK 設定を有効にする](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 電話機で、ボイスメール PLK として設定するラインキーを 2 秒間押します。

ステップ 2 機能選択画面の MWI または MWI + 短縮ダイヤルをクリックします。

ステップ 3 [MWI を定義する (Define MWI)] 画面で、次の表の説明に従ってパラメータをセットアップします。

パラメータ名	説明とデフォルト値
[ラベル (Label)]	PLK のラベル。たとえば、VM 3300 のようになります。このパラメータがない場合、キーはユーザー ID パラメータの名前の部分を表示します。 このパラメータはオプションです。
ユーザー ID (User ID)	ボイスメールアカウントの SIP アドレス。たとえば、4085283300@\$PROXY のようになります。 このパラメータは必須です。
番号 (Number)	短縮ダイヤル番号または SIP URI。たとえば、8000、3300#、123456# のようになります

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

関連トピック

[ボイスメール PLK の文字列シンタックス](#) (6 ページ)

[直接 PLK 設定を有効にする](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。